



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

【惻隠之情】(そくいんのじょう)

相手を思いやる気持ちを表す



Lend a Hand

手を貸そう

2003 2004年度 国際ロータリーのテーマ

職業奉仕米山月間

第810回 平成15年10月22日(水)

【本日のプログラム】

- | | |
|-------------|---|
| 1. 食 | 事 |
| 2. 点 | 鐘 |
| 3. ローターソング | |
| 「奉仕の理想」 | |
| 4. 四つのテスト唱和 | |
| 5. 会長の時間 | |
| 6. 幹事報告 | |
| 7. 委員会報告 | |
| 8. ガバナーアドレス | |
| 9. 点 | 鐘 |

クラブ協議会

カバナー 公武 訪向

次回予告

★10月29日(水)

フォーラム

【米山月間にあたって】

100万ドル食事

★11月5日(水)

会員卓話

福井 輝文君

11月セレモニー

理事・役員会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	中武 幹雄
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	林 厚雄
事務局	宮崎県佐土原町大字下郷町3887-17	幹事	梶田與之助
	☎880-0212	会計	岩切 正司
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

第809回例会記録

(2003. 10. 15)

☆会長の時間

会長 中武幹雄君

皆さん今日は。一週間の御無沙汰でした。本日は第809回の例会です。

ゲストをお迎えしております。

西都RCのバストガバナー図師鎮雄君です。米山月間によせてのお話を後でしていただきます。よろしく願います。

さて、毎週の会長の時間のお話探しには大変苦労して、ロータリーの文献を調べたりして皆さんのお話しておりますが、今日はパソコンから引き出した、「He profits most who serves best」(彼は、彼の仲間仕える大體が權を授けず)の提唱者「アーサー・フレデリック・シェルドン」についてご紹介します。

1868年5月1日、ミシガン州のバーノンで生まれたシェルドンは、ミシガン大学の経営学部を専攻し、修士課程を優秀な成績で卒業しました。現在でこそ経営学はメジャーな学問ですが、当時としては極めて特殊な分野であり、更に、広告は全て虚偽か誇大広告、口から出任せ、ぼったくりといった商法が普通であった時代に、販売学という全く新しい分野の学問を学びました。卒業後、図書の訪問販売のセールスマンとして素晴らしい成績を挙げ、1893年には特に百科事典販売の権利を与えられます。更に6年後には自分で出版社を経営するまでに成長します。大学で学んだ販売学に自らのセールスマンとしての経験を加え、1902年にはシカゴに、サービスの理念を中核にした販売学を教えるビジネス学校を設立します。その後、ロータリーの職業奉仕理念となる「He profits most who serves best」これを科学として捉え、サービス学の概念を教える事が、シェルドン・ビジネス学校の方針だったのです。大学設立6年後(1908年1月)シェルドンとチェスレー・ペリーはハリ・ラグルスの推薦でシカゴロータリーク

ラブに入会します。その後、二人はポール・ハリスの片腕となり、共に活動をして行きます。シェルドンは奉仕理念の提唱者として、又ペリーはロータリー組織の建設者として協力して行きます。倫理構築や提唱があまり得意でなかったポール・ハリスは、その作業は全てシェルドンに任せたのではないかと思います。その時、シェルドンの奉仕の理想は既に完成の域に達していました。彼は、スクールで理念を広げるよりも、ロータリーという大きな組織を通じて広げる事に魅力を感じたのかもしれませんが。ロータリーはシェルドンの新しい奉仕の理念をそっくりそのまま導入して、ロータリーの奉仕の理念としました。シェルドンに対するポール・ハリスの信頼がいかに厚かったかが伺えます。シェルドンも入会僅か1ヶ月の新入会員であるにも拘らず多くの古参ロータリアンを前にして、彼の持論である「サービス学」を新しいロータリーの理念として説いていきます。シェルドンのモットーを全国のロータリークラブに広めて行く原動力と成ったのは、シェルドン・ビジネス学校の卒業生達で、その多くはシアトルとミネアポリスのロータリアン達でした。毎回の例会毎に、ポール・ハリスとシェルドンによって繰り返される奉仕哲学と拡大の必要性を説く議論に大多数を占める互恵(睦をうける)親睦派の会員達は辟易しました。その白熱した議論の雰囲気や和らげる為に、ハリ・ラグルスが始めたのが「唱歌」であったことは、あまりにも有名な話です。また、不思議な事にポール・ハリスは散髪屋の椅子で突然浮かんだ言葉が「He profits most who serves his fellows best」(彼は、彼の仲間仕える大體が權を授けず)であったと記載されています。同じ時期に同じことを考えたという事はとても不思議に感じました。同じ目標ならば答えは同じになるのかもしれませんが。神ぞ知ることですか。その後、2001年6月、RI理事会はロータリーのモットー「He profits most who serves best」の使用を停止します。「He」(彼)という特定用語が含まれているか

らという説明をしています。前々から懸念されていた職業奉仕の軽視の傾向から考えて、性に関する表現を削除するという大義名分のもとに、そのものの使用停止が強行されたような気がします。日本のロータリアンはこのモットーの意味を、ロータリー運動の本質である職業奉仕の理念として正しく理解されていますが、外国ではシェルドンの名前は知らない人も多く、モットーそのものを正しく理解されていないのではないかと思えます。その意識の差が廃止につながったのではないかと考えられます。

今日は「ロータリーの哲学」のアーサー・フレデリック・シェルドン氏について紹介いたしました。

一口ことわざ

“女房となべ釜は古いほど良い”

長年連れ添った女房というものは、やりくりも上手で、気持ちも通じ、ありがたみが出てくるものである、ということ。

☆幹事報告

幹事 梶田 與之助 君

例会変更通知は来ておりません。

今週の土曜日（18日）の地区大会にご参加の皆様は、再度申し上げます。

18日の10:00 に吉田君に手配して頂いた、マイクバスで、役場駐車場を出発します。

参加者

池田君、岩切(正)君、岩切(蘭)君、岩下君、太田君、梶田、後藤君、佐藤君、田村君、垂水君、林君、村岡君、柳田君、藤堂君、中武君、濱田君、堀口君、宮原君、吉田君、山脇君(綾)

以上20名

それから、先だってよりお知らせしておりますが、国際大会出席者登録について申し上げます。お手元にパンフレットを配りましたが、是非、全員登録をお願いしたいと思います。登録締切りは12月15日です。

野菜の話

【きゅうり(胡瓜)】

1本90グラム中約85グラム(96%)が水分で、ビタミンやミネラルは、若干含まれる程度です。しかし、涼味が食欲をそそり、サラダや酢の物には欠かせない野菜と言えます。きゅうりには体内の熱を冷まし、手足のむくみを取る働きがあります。

ぬかみそ漬けにするとビタミンB1が増加します。また、利尿作用があることは、一般的に知られていますが、体内の老廃物を排泄し、血液を浄化するので、腎臓病、心臓病、その他、体がむくんで尿の通じが悪い病気のすべてに特効があり、またみずみずしいさわやかな香りと共に食欲増進にも大いなる効果のある野菜です。

県内での主な産地は、佐土原町内を中心に西都、国富、新富でハウス栽培を主体に秋、冬、春を通じて、県内はもちろんのこと、県外へも出荷されており、農産物のドル箱的存在であります。

露地栽培、ハウス栽培で年中生産されており年中食することができます。

☆出席報告

副委員長 岩下 廣美 君

会 員 数	27名
例 会 出 席 者	16名
出 席 率	59%
メークアップ者数	8名
修正出席率	89%
欠 席 者 名	榎 幸 子 君

☆外部卓話

西都RC 谷口明三君

西都RCに入会して3年目になります。以前はよく高鍋RCでメークしておりましたが、九電西都の管轄は佐土原を含んでおりまして、こちらにメークさせて頂いております。本日は電気の話をして頂く為、時間を拝借させていただきます。

電気はあって当たり前、無ければ困ると云う空気や水の様になっておりますが、果たして今、電気はどのような状況になっているか、あまり一般の人々に知られておりませんので、私の手元にある資料から、簡単にお話しします。

九電西都営業所の管轄は先程申しました様に佐土原町、西米良村を含み、人口約71,000人、契約口数約42,000口です。

配電設備は3つの変電所（西都、佐土原、広瀬）と発電所から直接引き出している6つの回線で、計29回線です。

停電事故対策は、殆ど自動化が進み、コンピューターで制御しております。

台風、大規模な自然災害、交通事故、土木作業中の事故、又、鳥、蛇、倒木、等の予期しない事故、そう云った停電事故の復旧にはどんな風に対処しているか、知って頂きたいと思っておりますので、お話致します。

一旦停電すると、電柱の上の箱型のスイッチが（2K位の間隔で設置）事故の場所を特定し、自動的にコンピューターで回線を探して送電します。又、台風等の時、ついたり消えたりしますが、これは木が風に揺れて電線に触れるためです。（間歇事故）色々場所によって色々な事故があります。

停電は10年前と比較して1/3に減っていて、作業停電（新設、増設等）は0になっており、これは全国一進んだ技術で、フランスなどからも研修に来ておりました。

次に県内の電力事情について資料から説明します。

宮崎県は九州の8.6%、西都営業所は県の5.1%です。昭和51年に発電量と使用量が逆転した、自給率35%の、電力移入県です。

電力設備では、北部、西九州を縦横に50万ボルトの送電線が引かれて、ようやく宮崎県にも出来てきます。

綾、西都で、色々ご意見が出ていますが、綾については、資料6ページの絵図で分かるように、照葉樹林帯は避けて計画しています。

7頁、1日の電気の使用量は昼間が多く、夜間は非常に少なくなります。年間では、夏場が多く、冬場は少なくなります。出来たら平均化されるのが一番効率的な発電の仕方になるのですが…電気料金は年々下がっています。昭和55年頃に比べて、約3割の値下げになっております。11頁の下に各種電源の特性と発電原価が書かれています。原子力5.9円、水力13.6円、これは当初の設備費でこの原価になります。また、45~50%は原子力発電で賄っております。

電気の自由化という事で、平成12年からスタートし、既に佐土原の松下電器は九電からはずれております。新規参入者（丸栄）との競争で、我々も今、大変厳しい状況になっております。自由化で太刀打ち出来るようにコスト削減の努力をしている事もどうぞご理解下さい。

次に、一つ瀬川の濁水問題は、『一つ瀬川濁水対策検討委員会』を作っています。詳しくは資料をご覧下さい。

最後に宣伝をさせて下さい。只今、『オール電化を進めています。パンフをご覧下さい。最近の新築の3割はオール電化となっております。ちなみに私の家でもオール電化にしておりますが、料金が1番高い冬場で12,000円、低い春と秋は7,000円でした。全てエネルギーは電気です。今後も高くなるという事はありません。自由化で安くするという事で努力して行きますので、工務店、設計事務所の方も会員に居られますが、どうぞ、よろしくお願い致します。今日は御静聴有り難うございました。（九電西都営業所 谷口明三）